

人

三七 受傷二一四三 開始〇一五九 歸了〇二一四 電〇三〇四三 作 概〇

作戰緊急

● 硫 黃 島 航空 基地

● 木更津航空基地

傍

機密第〇六二一四〇番電

陸軍部除指揮官

六日〇八〇〇玉名山正固敵戰車八台步兵約三〇〇來攻我之猛烈
ヲ加一六〇〇發退キ

戦果人員殺傷一四〇以上 戦車擱坐三 片ケツト砲車二、二一四〇

適三五五 於十四(三一〇〇)父通 鈴木(雨)谷

20. 3. 7.

Handwritten marks: 2, 3, 4

NTR

人

三 七 受信〇〇四一五 譯始〇六四五 譯了〇七一〇 電〇三二六〇 謀 通

二 八 航 戰

大海參一部・聯合艦隊口・一航空艦隊口

機密第〇六二一五〇番電

發 南西方面艦隊參謀長

機密第〇二一八五三番電第三項關聯

「イバ」方面ハ我ガ守備隊トノ連絡ナク詳細不明ナルモ最近左ノ如キ

敵信ヲ傍受シアリ同方面ノ情況平靜ナラズト認メアリ

一、敵側公表米落下傘部隊ハ「イバ」及附近飛行場ヲ占領セリ（日時不詳）

二、敵平文傍受（四日）日本兵士二名ヲ殺害セル所其ノ内一名ハ「イバ」

守備隊隊長タリシカ生大尉ナリ。

通三六〇六 呂一Bラ一八（四二七）三一通五分遣隊 未光（小澤）

20. 3. 8

Handwritten signature or mark at the bottom of the page.

手前 菊 子

作戰緊急

三七 受信開始 一〇五三〇 譯了 一一四一 電〇三二二二 作概

局長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V

木更津空基地・父畑・母島警備隊

硫黄島空基地

主基地航空部隊 通信所

宛 七 E G B 戦艦着艦

E 二 A B 戦艦機報四日

一、三月四日午前敵約一〇〇〇戦車三輛ト共ニ連絡諸方面ニ急迫セルヲ以テ司令部總員戦艦配置ニ就テ邀撃向地ニ機銃陣地ヲ構築セルモ近接セス
フル山機銃砲臺敵手ニ陥ツ。一七四七。

20. 3. 8.

236

通三六九六 多七四(一〇二〇〇)父畑

櫻井(島田)

人

三七 受信一一三五六 譯了一二四五 電〇三二六二 作概〇

作戰緊急

硫 黄島 航空 基地



木更津航空基地・父通・母島警備隊

通報表示 七基地航空部隊戰圖概報着信艦所

宛 七基地航空部隊戰艦着艦所

日二A日戰概 三月五日

敵ハ第三飛行場ニ陣地ヲ構築迫撃砲ニ依リ攻撃準備中終日攻撃活
潑ナルモ砲爆撃ハ司令部地區ニ集中我ハ陣地強化ニ努ム小數ノ斬
込ヲ行フ。

一八〇一

通三七二六

多七四(七二六〇)

櫻ヶ谷

森(川崎)

20. 3. 8

237

三七 受信一二四七
開始一四一五

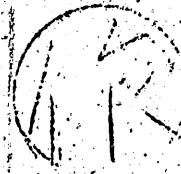
譯了一五三〇

電〇三三九四
〇三三九五

航作機本〇

至急

共符



海護總口・聯合艦隊口・三航空艦隊口・横通
大海軍一部
父島特根

機密第〇七〇九二五番電 二分ノ一、二

發 母島警備隊司令

宛 横銀參謀長 三A 參謀長 聯合艦隊參謀長

海上護衛參謀長

四日以來〇四〇〇頃ヨリ〇七〇〇頃ニ亘リ又一六〇〇頃ヨリ一九

〇〇頃ニ亘リ概ネ食事時刻ニT B F グラマン等ノ小型機ハ硫黃島

敵千鳥飛行場ヨリト覺シク連日來襲其ノ度數ヲ加ヘツツアリ

情報第五七號硫黃島敵千鳥飛行場ハ概ネ再建シ五日B二四B一七

各一着陸シアリ敵ハ我ガ本土空襲ノ基地ヲ強化ノ爲車輛百數十輛

ヲテ遠征擴張作業ヲ續行シツツアリト。

通三七三〇天二Bケ六(一〇二〇〇K)父通

三七〇八

田中(岩崎)

20. 3. 8-

Handwritten signature or mark at the bottom of the page.

三七

受信一四〇六
譯始一四五〇

譯了一五一五

電〇三三九六
電〇三三九六
七

作
編

至
急

父島特根戰團概報着信監所

父島特根

機密第〇七一〇五番電 二分ノ一二

戰團概報 (三月七日)

一〇三一七ヨリ〇八一九迄F六F十數機相次テ來襲二見灣沿岸陣地
施設及飛行場附近ヲ銃爆撃週邊偵察後 去ル

三戰果F六F墜二機撃破一機

三被害無シ

四發射撃數ヲ極限シ戰果却テ大イニ上リアルモ殘彈遂次減少今後ノ
對空射撃ヲ中止セシムルノ已ムナキ狀況ナルハ遺憾ナリ。

通三七七九・三七六七 天二Bケ六 (二〇二〇〇K) 父通 佐藤。渡邊 (様) 澤

20. 3. 8-

209

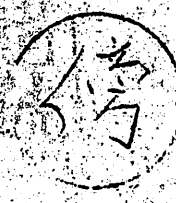
三七

受信開始
〇〇四〇〇〇
了〇二〇〇二

電〇三五六四
電〇三五六五
電〇三五六六
電〇三五六七
電〇三五六八

作訓

作戦緊急



木更津航空基地
通報表示七基地航空部隊戦闘概報着信箇所
機密第〇七一七三〇
五分ノ一二三四五

硫黄島航空基地

發 硫黄島陸戦部隊指揮官

戦所見

一 第一波上陸前二日間ニ亘リ陸艇數十隻ヲ以テ砲撃ヲ加ヘ特火點ノ破壊ヲ始メタルモ第一波ニ對シテハ相當ノ戦果燃焼ヲ得タリ尙殘存ノ陣地アリト見ルヤ陸艇距岸二〇〇〇米迄接近四五連砲ヲ以テ偽陣地本陣地ノ區別ナク 端ヨリシラミツブシニホリ返シ第二波以後ハ殆ト使用不能トナレリ平射砲亦同様ナリ水際ニ於テ如何ニ偽裝如何ニ

通四〇四七・四〇四八
四〇四九・四〇五五

於一四 (三六三〇K) 硫黄島空基地

牛久保・小野寺
セシバ・日高
安彦 (標) 澤

20. 3. 8-

240

豫備陣地ヲ設クルモ敵ガ今回ノ如キ戰法ヲ執ルナラバ建
 立セザルモノト思考
 サイ陣地ハ

三 上陸豫定地ニハ燃彈應用地雷ヲ敷設セルモ濕氣ノ爲燃發セズ且敵ハ
 地雷探知戰車ヲ以テ除クニ前進之ヲ探知スルヲ以テ効ヲ奏セズト
 ラツクニ對シテハ相當効ヲ奏セシモノノ如シ
 三 戰車ニ對シテハ速射砲最モ効果アルモ破壊セラルルコト速ボウ地雷
 ヲ手ニ二個ヲ附着肉攻ニ依ル攻撃モ効果アルモ警戒ヲ嚴ニシテ晝間
 ハ殆下成功セズ手ナゲ圓スイ彈ハ戰車前面ニ對シテハ効果ナシ
 後側方ニ對シテハ奏果アリ迫撃砲ハ集団黎明時ニ對シテ効果アリ戰
 車ハ肉攻ヲ極度ニ恐レズ必ズ歩兵ヲ隨伴其ノ進撃速度ハチチタリ向
 一箇所ニ數時間停止シアルコトアリ薄暮ニ至ラバ必ズ後方ニ避退擱
 坐セル戰車ハ悉後方ニケイ引シ修理シテアリ

四 今回ノ陸上戰團ニ於テ最モ效果ヲ奏シタルハ輕便キシテ移動容易噴進
 及迫撃砲ニシテ今尙健存シ毎日多大ノ戦果ヲ收メツツアリ時ニ噴進
 器ハ敵ニ多大ノ恐ル感ヲ與ヘ陣地轉換容易ニシテ温存極メテ容易ナリ

島嶼防備ニハナルベク多數準備
するを要す

島嶼防備ニハナルベク多數準備スルヲ要ス

五 本島洞窟ハ極メテ有效ニシテ厚サ一〇米程度ニシテ重砲爆撃ニ對シ

損害絶無各陣地モ右ノ程度ニ準備セバ損害ヲ極限シ得ベシ

六 敵歩兵ハ積極的ニシテ戰車ヲ伴ハズ陣地直前ニ現ハレ迅速ニ陣地

ヲ構築迫撃砲機銃射撃ヲ行ヒツツアリ一方戰車ノ行動ハ一般ニ鈍

オンソンニ努メツツアルガ如シ

七 敵ハ味方各種陣地ニ對シテハ鎗砲爆撃ナイナイト火焰射撃等

有ラユル火器使用徹底的破壊實施シツツ進撃ス

八 敵ノ狙撃兵ノ技術ハ極メテ優秀ニシテ被害多ク歩兵ハ問題トスル

ニタラザルモ重火器ニ依存シツツ我ニ重壓ヲ加ヘアリ臺間銃砲爆

撃ノ掩蔽下ニ隊々ニ進撃陣地ヲ構築シ夕刻「マイク口ホン」ヲ裝

備煙幕展開シツツ後退スルヲ例トス内線ノ警戒ハ割合ニ疎ナルモ

一線ノ警戒ハ極メテ嚴重

九 敵ガ本島ニ注目シタル鐵量ハ歴大ニシテ此レガ爲ニ山形悉ク改マリ

テ一本ノ立木モチシ

一〇 乙航空機ハ一定方針ノ下ニ極力陸軍教育實施シ置クノ要アリ。

三八 受信〇〇四四二一 譯了〇五一七 電〇三六一〇 作機

作機緊急

硫黃島航空基地



木更津航空基地

七基地航空部隊除隊機報着信機所

機密第〇八〇〇四五番電

發 硫黃島陸戰隊除隊機官

宛 木更津航空基地

七日 報告

一、玉名山地區二段岩及北正而ニ歩兵ヲ伴フ戰車六來攻混戰ヲ展開セリ

モ夕刻迄退陣地ヲ登陣戰果人員殺傷九〇以上

二、北地區天山嶺陣地迄侵入シ來ルモ之ヲ擊退戰果射殺五〇ヲ確認

三、各地區共毎夜斬込隊ヲ派遣戰果ヲ暴ツツアリ全員士氣旺盛。

通四一二九 於一四一B 木更津

清水(林)

20. 3. 8

Handwritten signature or initials, possibly 'FW'.



三八 受信一九〇〇
九 譯始〇〇〇三
譯了〇三〇五
電〇四〇五三
〇四〇五四
作檢〇

至 急 符 共

● 大海參一部・聯合艦隊口・樞通。三航空艦隊口
● 父島特根▷

機密第〇八一四二〇番電 二分ノ一二

發 母島 備隊司令

着信者 樺須省 守所 參謀長 聯合艦隊參謀長 第三航空艦隊參謀長

硫黃島ヲ敵ノ隊艦ニ委シ敵ヲシテ我本土ニ對シ大舉空襲ヲ容易ナラシメ其ノ際ノ被害ヲ豫想スル時現在海軍ノ可能全航空攻撃力ヲ硫黃島ニ集中シ硫黃島周邊ノ敵艦船ヲ殲滅シテ敵上陸軍ヲ孤立セシメ
通四四一七 呂一Bケ五(五一〇〇E)父通 東野(淺岡)
通四四四八 原野

20. 3. 9.

244

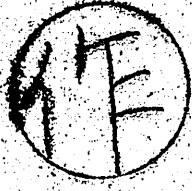
漸次之ヲ全滅セシムル最後ノ手段ヲ速ニ實行スル要ニ迫ラレアルヲ
 痛感ス我本土防禦ノ南方第一線兒島・硫黃・父島・八丈等ニ依存シ
 本土沿海ノ攻勢防禦化ノ據點トシテ絶對永久確保ノ要アリ母島ハ戰
 備極成迄ニ間ニ合フ様不落ヲ待ムト雖モ敵上陸來攻ノ虞多分ニアリ
 硫黃島ノ最大戰訓ハ敵艦艇ヲ速ニ殲滅スルニ歸ス。

N F 5

三八 受信 三三〇一 譯了 二三三四 電 〇三九七四 航本 作概

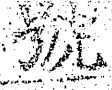
● 饒 黃 島 空 基 地

● 木 更 津 空 基 地



〔通報表示〕 東 通。聯合艦隊下

機密第〇八一四五〇番電



宛 二一〇航空隊司令

落乘員整備員共勇戰奮闘中ナリ。

通四五七二 於一四(四〇四五K) 木更津空基地 清水(島田)

20. 3. 9

246

三八 受信二一九五四
譯始二〇二五
譯了二〇三〇 電〇三八九六

緊急

航作

本概〇



第七基地航空部隊作戰命令着信艦所

機密第〇八一七三五番電

20. 3. 9-

七FGB電令作第八三號

第七五二空隊司令へ攻撃第七〇四飛行隊陸攻二機ヲ以テ明九日硫黃島

陸上攻撃ヲ實施スベシ

通四四六八 呂一B (B) 横須賀 森 (雨) 谷

Handwritten mark resembling '2E7' or similar characters.



三
九八 受信二二五九
譯始〇四〇五

譯了〇五〇五 電〇四〇六一

航作概本〇

● 母島警備隊 智島防備衛所

● 小笠原部隊

● 横 鎮

機密第〇八二〇一九番電

20. 3. 9.

電令第一號

一、情報ニ依レハ硫黄島ニハ敵Pト三八型戦闘機進出セリ
二、戰訓ニ鑑ミ各部之ガ消音近接並ニ超低空奇襲ニ對シ見張警戒並ニ退
避用防空壕ノ整備強化等被害防止策ノ實施ニ關シ遺憾無キヲ期スル
ヲ要ス。

通四五四九 天二Bケ六(五一〇〇)父通 田中(小澤)

→ Fd

4290

作概

90
11/220
26
45
11/220
夏夜記

三九
受始 一四五六
譯了 一二二〇
電〇四一八〇
作概

作

七基地航空部隊戰團概報通信監所

木更津 空 基地

機密第〇九〇九三三番電

E二〇AB 戰團概報第一三號

攻擊第七〇四飛行隊陸上攻擊機二機確黃島陸上攻擊ノ爲二三〇〇木更津基

地設進〇三四〇爆撃終了飛行場附近ニ全彈(六番陸二四號)命中二番機

ハ一番機ノ攻撃ニ依ル小火災ヲ認メタル外斷雲ノ爲賊果確認シ待ス一番

機發動機故障ノ爲〇七一〇 八丈島ニ小時着ス以該中破搭乗員無事ナリ

二番機〇七五〇歸着

通四七四五 呂一Bケ五(七六)五RC)木空

明比(島田)

赤坂

三勇

赤坂

赤坂

20. 8. 10

人

三八

受信一六五七
譯始一六〇七

譯了一八〇〇 電〇三八六四

作
本概〇

作戰緊急

● 木更津航空基地。父通・母島警

● 硫黃島航空基地

作

〇 九五〇

20. 3. 9-

宛 第五基地航空部隊戰術概報着信艦所

其ノ二

漂流木方面ニモ有力ナル敵侵入セルヲ以テ戰線ヲ整理シ北地區ノ防
備強化ニ充當セルモ此ノ方面ヨリ攻撃本日最モ猛烈ナリ海軍司令部
前面ニ敵ハ逐次侵入戰果本日晝戰ニ於テ玉山山方面遺棄死体六〇天
山方面射殺五〇兵器若干。

通四四二六 多十四(一〇二〇〇)父通 林(猪狩)

250

三
九
受信一四三五六
譯始一四〇四五
譯了一四二五
電〇四二七七
航作
本概〇

緊急

共

符

作

三航空艦隊尸・横通

大海參一部・父根

機密第〇九一〇五一番電

發 母島警備隊司令

宛 横領參謀長 三A 參謀長

硫黃島機密第〇七二〇〇番電ニ依ル敵ノ北ノ鼻艦砲射撃ト警シキ砲聲

聞ユ母島ニハ二二四二機來襲ヒラ横ノモノ敵在セリ一〇五〇

通四八三七

才一四八二〇三〇〇K0)父通 山本(渡邊)

20. 3. 10

三九 受信開始 〇〇一〇〇〇八 譯了 〇二三五 電 〇四〇七三 作 概

作戰緊急



● 木更津航空基地・母島警備隊・父道

● 硫黄島航空基地

（通報表示） 東 通・聯合艦隊口

E二AB 戦機三月八日 其ノ一

一、北地區

イ、陸軍高陣地正面テン山方面ニ對シ有力ナル敵侵入企圖シツツアリ海軍高角砲陣地此ノ敵ヲ狙撃大損害ヲアタフロカツ北方炎上約一〇正面ノ敵ノ進出緩漫ナリ 一九一〇。

通四六五〇 多七四（四〇四五 KC）木更津航空基地

小野寺（林部）

20. 3. 9-

252

人

三九 受信一三三七 譯始一三五三 譯了一四三一 電〇四二六一 作 概

作戰緊急

木更津航空基地、母島警備隊・父、通

硫黃島 空 基地



其ノ二

三 玉名山方面詳細不明其ノ他著變ナシ

三 戰 果

(1) 人員發傷六〇以上、敵ハ煙幕ヲ展張死傷者ヲ收容セリ
(2) 昨夜ノ切込ニ戰果 指樞所北地區高角砲正面人員發傷一五ケイキ
彈藥一五〇發捕獲 其ノ二 一九二七。

通四八三八、多七四(一〇二〇〇)父通 官崎(鈴三)

20. 3. 10

Handwritten signature or mark at the bottom of the page.

作戰緊急

三九 受信一四〇五 譯始一四三五 丁一六〇〇 電〇四三三六 作機

● 木更津 航空基地・父島通・母島警備隊

● 硫黄島 航空基地

(通報表示)七基地航空部隊

夕ナ一 二〇〇〇

白ヒロ 技術大尉指揮スル一組殺傷八シドウ小銃二小銃二

ホカク

四夕刻敵信傍受ニ依ル本日敵ガ上陸用舟艇ヲ準備及煙幕ヲ展張ヲ
ナスベク下令シ本夕刻北ノハナヲ砲射撃シタルヲ以テ戦線ヲ
確保ノ上、レン背後ニ上陸ヲ警戒シツツアリ 其ノ三

(東通註) 本電誤字多シ

(電信課註) 本電 其ノ一、二既配布

通口八九九 多七四 (七五〇五IC) 三A P P 宮崎 (様 澤)

20. 3. 10

傍

三
一
受信〇〇五五六
譯始〇六二一
譯了〇八四〇
電〇四九八五
作
機

木更津航空基地

松島航空基地

機密第〇九二〇〇〇番電 二分ノ二

敵ノ攻撃ハ緩慢ニシテ歩兵ノ攻撃少ク戰鬪機數機ノ銃爆撃アル

五北地區海陸軍司令部ノ戰鬪情況不明

六我ハ出撃前自決シ僅ナリ

七殘部海陸軍將兵(少數)ハ今夜切込ヲ決行ス

八無線連絡ハ最後迄確保ス。

(東通註 本電誤字極メテ多シ)

(電信課註 本電二分 既配布)

通五六四五 於十四(五一〇〇KG)父通 宮崎(森 田)

20. 3. 12

三 一〇 受信一〇五八 請丁一三四三 電〇四六五九 作 欄

常長	至	山崎
一謀長	島	王勇
A	福	伊
B	福	伊
E	伊	伊
丁		赤
F		?

作

父通、木更津航空基地、母島警備隊

機密第一〇〇〇〇〇番

日一 A B 戦況三月九日 其ノ一

北地區連絡所西方地區ニ對シ敵歩兵八〇〇重戦車五輕戦車二火倣車
 一進攻シ所在部隊激戦中ナルモ兵力ヲ整備シ對峙シアリ天山方面
 車四ノ件ヲ有力部隊左翼ヲ突破正面ニ侵入シ後退セリ玉名山地極情
 況不詳。

通五二二〇 キン五 (B) 木更津警備隊 清水 (三石)

256

20.3.11

0635

急

三一

受信〇九五〇
譯始一〇一五〇

譯了二一四〇 電〇五〇二四 作標〇

緊急

母島警備隊

停

硫黄島空基地

父根 木更津空基地

宛 三七五 參謀長

通報 三 A F 參謀長 橋嶺參謀長

硫黄島の皇國防衛ノカンケンナレヲ以テアタマテ頑張トウシ濃霧洞窟
前中 敵艦ノ狀況モ追加サレテトセン〇八五〇(一一一)

通五八五九 夕一一四(七二六〇)父通

峰(山中)

20. 3. 12

作戰要旨

三 一一

受信 〇〇五三四
始 〇六〇〇

譯丁 〇八四九五

電 〇四九五〇

作戰

硫黄島航空基地



木更津航空基地？

機密第一〇〇〇一二番電

戦概 其ノ二

二 敵ノ司令部地區ニ對スル砲撃機撃ハ黎明時ヨリ特ニ激烈ナリ

三 三月七日大型機四機第一飛行場ニ着陸セルヲ敵ヲタルモ砲種確實ナ

ラズ

四 昨八日北地偏高角砲前面ニ於ケル戦果ヲ人員殺一八〇名ニ訂正。

通五六一五

キジ五

（五一〇）

文通

清水

（取付）

→ 50

3

緊急
作戰



三

二

受信 〇〇七五二
譯始 〇〇七一〇

譯了 〇九四〇

電 〇〇四九五七
電 〇〇四九五八

作
概

木更津航空基地・父通・母島警

硫 黃 島 航 空 基 地

E 二 A B 戰 概

其ノ一

テン山方面〇

局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長
局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長
局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長
局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長
局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長
局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長
局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長
局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長	局長	一課長

一ヲ攔坐、セシメタ刻撃退セリ、ギンマイ水附近敵戰車アリ連絡所略

判明午前ヨリ激戰續行中、我戰線昨日ニ同シ東山方面陸海軍七〇〇

敢闘中夕マナ山狀況不明

二二三〇

其ノ三

敵ハ北地區方面間ニ逐次壓縮スルト共ニ西方及天山方面ヨリ後方迂
回ヲ企圖敵方面ニ極力ツツ加ヘツツアリ天山附近ニ於ケル敵遺棄
死体ニハ濠州支那黒人等ヲ認ム、第一飛行場D-Iニ九 四程度飛來

シアルコト概テ確實

二二三〇

通五六四六五六四七 多七四 (B) 木更津、父通 富田、中川 (菅田)

三 一二 受信〇四二九 譯了〇五四九 電〇五二九三 作 概
作戰緊急 譯始〇四三七



木更津空基地・父島通信隊・母島警備隊

硫 磺 島 空 基 地

E 二 A B 戰 概 三 月 十 一 日

一、各前戰ノ敢闘ニ依リ戰線昨日ト大差ナレ西側正面最モ激戦ナリ 天

山方面戰車五ツ件ヲ敵ニ對シ敢闘中 北地偏東正面逐次敵ハ退シ

ツツアリ各陣地共敵ハ概シ二〇〇米前方正面歩兵陣地ヲ構築我方軍

陣地全面ニ對シ終日砲撃ヲ加ヘツツアリ其ノ續ク一八五〇。

(東通社 本電誤字多シ)

通六〇八三 多七五八 B 一木更津 鈴木(松山)

Handwritten number 260

3 12

三八 受信一三三五
開始一三四〇

譯丁一四三五

電〇三八四三

參作概本〇

作戰緊急

父島通信隊・母島警備隊・木更津航空基地

〔通報表示〕 東京通信隊・聯合艦隊口

作

20. 3. 9.

第一基地航空部隊戦闘機報告信機所

E三AB 戦機 三月七日 其ノ一

玉名山方面ニ於テ陸軍野戦高角砲陣地硫黄島警本部ニ進入シ來ル後
敵機日没迄ニ極ネ擊退セル我方被害相當アリ 玉名山地
區ニ於テハ敵ハ旅團司令部南空本部門ニ進出シ來レルモ擊退セリ。

通四三六五 多七四(七五〇五)木航空基地

小野寺(益田)

三 一 一 開始 〇五〇一 譯了 〇五四〇 電 〇四九〇三 作 概

作戰緊急



● 木更津空基地・父 通・母島空備除

● 硫 黄 島 空 基 地

其ノ二

戦果昨カ日北地區左正面人員殺傷一其ノ他〇右正面約二〇〇戰車一機坐
(設營隊二七三工員村井フシヲ生存外ヲモ子六郎戰死) 二二五〇。

通五六三六 夕一四八五一〇〇(四特父通)

山本(才原)

20.3.11

三
一一三二 受信二一五八 一三譯了〇一四五 電自〇五六六一 整基
講始〇〇三五五 電至〇五六六一

東京通信隊・横須賀通信隊

父 島 根

機密第一二二二〇〇番電 四分ノ二三三四

三〇四設營隊長

宛 施設本部長、横須賀施設部長

受報者 横領參謀長

一、工事現況硫黃島戰況ノ急迫ニ伴テ設營作業ハ益困難トナリタルモ全員

士氣極メテ旺盛ニシテ戰備ノ増強ニ銳意努力中ナリ現在迄西浦震洋基地

萬年青濱砲臺（十二纏二門）ノ他ハ中常砲臺（十二纏二門）及高射砲二門（

コウモリ谷砲臺（十四纏砲二門）ヲ完成目下飯崎始崎（各十五纏二門）

ノ工事中何レモ四月七旬完成ノ豫定 向高角砲三門ヲ移動隧道式海面砲臺

通六三三八 通六三三九 呂一八々五（一）横 加藤 水澤（増田）
通六三三三 通六三四一 石毛 杉原（一）

20. 3. 13

ト爲ス工事ニ着手四月中旬迄ニ完成ノ豫定通電ノ熊濱震洋基地ハ一時
中止セシテ以テ水際特火點ハ四箇所完成ニ概成

ニ設營作業ノ傍チ駐屯地區沖村周邊ニ堅固ナル陣地構築ヲシ陸戰訓練ヲ

強化日々戦力ヲ昂揚シツツアリ

三セメント織筋ノ前記ノ必要 量モ無シ工夫ヲ以テ補フ外無ク其ノ他資

材モ前記工事ニ漸ク足ル程度ニシテ五月以降ハ設營資材無シ

四人員總員四八六名内患者四五名

五糧食ハ主食四箇月分副食二箇月半分ヲ保存

264

(2)

三 一二二 受信 〇〇二五九六 譯了 〇三四五 雷 〇五二六七 作 概
作戰緊急

● 木更津航空基地・母島警備隊・父通

停

一 通報表示 一 第一夜戰部隊

其ノ二

第七航空部隊基地戰機着艦

釋

山地區ニ對シ昨夜連絡兵派遣情況確認ニ努メツツアリ

二 戰線ヲ縮少セル爲南方敵艦續行狀況確認不可能地區ニ乃至四料以內目視

三 巡洋艦一艘 逐艦四程度 遊弋
狙撃隊 人員 殺傷六〇〇
通六〇七〇
B 海軍司令部 正面八〇
安彦 戰車 攔坐 炎上二

265

20. 3. 12

三一四

受信開始 〇〇八七五〇〇

譯了 〇八二五 電 〇六〇七五

作 概

作戰緊急



● 木更津航空基地・父島通信隊

● 硫黄島航空基地

兵戦車三歩兵少數連絡所前方ニ現ハレ後退セリ

天山背面ニモ戦車四歩兵五〇突入セリ

西正面戦車四來攻セルモ撃退 其ノ二。

二一五一

通六九〇八

多七四 (五一〇〇KC) 父通

仙波 (小林)

20. 3. 14

266

三一四 受信一〇〇〇 譯始一〇〇五
譯了一〇三五 電〇六一三二
作戰緊急 作 編



◎ 木更津航空基地・父 連・母島警備隊
◎ 硫黄島航空基地

(通報表示) 大海戦力補給部・五十六駆潜隊・伊一三九

宛 七基地航空部隊戦艦着信艦所 二〇一〇
其ノ三

一 敵ノ砲爆撃ハ北地區全面ニ對シ依然猛烈

云午後北ノ真機銃陣ノ八〇度近距離ニ中型機送達八機認ム
三 昨十二日陸海軍綜合戦果

人員殺傷八〇〇・戦車二炎上・機銃三・自動小銃二〇鹵獲。

通 六九三七

多 七四 (七五〇五) (航空基地)

日高 (酒卷)

267

20. 3. 14

三
一六
受信一五一五
譯始〇八〇〇
譯了〇八一〇
電〇六八四五
作
概

傍

● 木更津航空基地。父通。母島警備隊

機密第一二二二二一五番電

20. 3. 16

本日判明セル玉名山 陸戦隊ノ情況

（兵員四名ノ綜合報）連日敢闘ニ依リダンマジヨウ敵ノ銃砲受クル處

トナル兵團トノ連絡不良ノ儘八日夕刻ヨリ豫團及射空司令ハ機ヲ以テ

反撃ニ出テ相當ノ被害ヲ生ジ一部東地區及倉庫地ニ復歸 其ノ一。

（東通註 本電再送ノ爲遲延）

（電信課註 再送要求中ナルモヨニテ電話ニテ受取ル）

通六五五六

キジ（七五〇五KO）木空 中川（清塚）

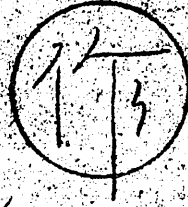
268

三
一五三 受信二一五〇五
一五 譯始二〇一〇二
譯了〇一〇一〇 電〇六七六一
作 概

作戰緊急

共

符



● 木更津航空基地・父島通・母島營
〔通報表示〕 東 通。聯合艦隊口

機密第一二二三二五番電

斬込セルモ次ノ戰車トテ戰闘以後消息不明

三月十一日戰果被害

- (1) 人員殺傷六〇〇 (海軍司令部正面射殺) カンエウ兵器若干鹵獲
- (2) 十二連高角砲三使用不能ニ? ノヨソ。
- 〔京通註 本誌誤字極ノテ多シ〕

通六五三四 キジ五 (七五〇五) 木更津 中川 (森 田)

269 20. 3. 16

三一六

受信開始 〇〇一四〇

丁〇二〇〇

〇〇六七八一

作機

作戰緊急

● 木更津空基地。母島警備隊。父通

● 硫黄島航空基地



宛 七基地航空部隊戦機概報着信送所

区二A B 戦機 三月十五日 其ノ一五

20. 3. 16

一、早朝ヨリ戦車二ヲ伴フ歩兵七〇海軍司令部以方一〇〇米ニ近接火焰

及砲撃ニ依リ附近陣地攻撃我々軍相當損害アリ他ニ戦車ニ受信所前方ヨリ北ノ鼻下方陣地攻撃トリ

二一・二二

三、昨十四日陸海軍綜合戦果

射殺二六、海軍司令部正面ニ戦車二機坐炎上四、北地區殘存兵力受信所シエイ六〇、内負傷二三、兵員シエイ協力一一〇、内小銃ヲ有セザ

ルモ入三〇、二一四五、

七八三三・七八四〇 多十四(四〇四五)(木更津 日高・安彦) 戦田

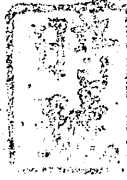
Handwritten scribbles or numbers at the bottom of the page.

↑
ク

三三一六
開始一四五五
譯了一六〇〇
電〇七〇三四
作概〇



● 硫黄島空地基地
● 横領・三航空艦隊



宛 小笠原兵團長 第二七航戰司令官
硫黄島陸海將兵鬼祿ノ如キ勇戦敢闘ハ眞ニ感激ニ堪ズ今ヤ父島母島ノ
防備ハ全ク完成陸海一致即結誓ツテ仇敵ヲ撃碎シ以テ御期待ニ副ハン
コトヲ期ス 一三四六

通八〇八九 夕七四(一〇二〇〇K)横通 中川(河田)

20. 3. 17

271

0650



三二二 受信二〇四〇 譯了二〇四〇 電〇九七八三 作概

● 硫黄島航空基地
● 父 通

● 木更津航空基地

機密第二二一九四五番電

硫黄島通信科員が激烈ナル砲撃下絶大ナル努力ヲ傾倒シ連絡任務ヲ完遂シツツアルハ其ノ剛魂軍人ノ龜鑑タリ。

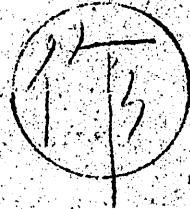
通一二二二四 平文(五二〇〇B) 木空 高橋(鈴三)

昭和廿年癸月廿五日

272

三 受信二二三八 譯了〇二〇〇 電〇九八五一 作
二二 開始〇〇二〇〇

至 急



七基地航空部隊作戦命令着信機所

大海參一部・聯合陸隊口・横通校・横録

機密第二二二〇〇三番電

發 第三航空陸隊司令長官

硫黃島通信關係員ガ激戦死圖下克ク連絡ヲ確保シアルハ其ノ功賞讃ニ
價ス(硫黃島別電)。

通一 一二六八 呂一 〇ケ五(〇) 木空 石毛(緑) 田

273